

第10回当別町史編さん委員会 会議概要

日 時：令和4年6月7日（火） 午後1時

出席者：（事務局）長谷川総務部長、佐藤総務課長、五東主幹、村田係長、藤原主査
石川社会教育課長、下村文化財保護係長
倉田歴史研究専門員、(株)須田製版担当者

（委員）竹田委員長、松尾副委員長、野口委員、大口委員、曾川委員、大畑委員

1 開 会 佐藤総務課長

2 挨拶 竹田委員長

3 議 事

(1) 町史原稿の校正について

主に以下のとおり協議を行った。

【第1部 第1章 気象 5ページ分 初校】

・新篠津のアメダスデータを用いて、新篠津の気象を語っている文章が多い。新篠津の村史のようなイメージを受ける。

→ 当別町にはアメダス観測点が存在しないため、近隣地の新篠津のアメダスデータに頼らざるを得ない現実がある。

筆者の意図としては、厳密に当別のデータだと誤解されないように繰り返し新篠津という言葉を使っている。

『新篠津』という記載を減らすよう検討する。

・記述が長い。

→ 簡潔にするよう検討する。

・3ページ記載の当別町の面積は正しくは422.86km²である。

→ 修正する。

・図表がわかりにくい。

→ 図と文章を組み合わせ、読者にわかりやすくする。

・図1-5が1979年のデータを用いているが、最新のものは無いのか。

→ 確認する。

【第1部 第3章 植物 36ページ分 初校】

・当別町の話というよりは、植物の一般的な話が多い。

→ より当別に特化したものとなるよう表現等を工夫する。

・記述が長い。地形の話など他と重複する部分もあるのでは。

→ 簡潔にする。写真を組み込み、見やすくし、表にしてまとめられるところは表にする。

【第1部 第4章 動物 38ページ分 初校】

・北海道全体の話や、ひとつひとつの動物の生態の説明の記述が長い。表にしてまとめるなどして良いと感じる。

→ 簡潔にするよう検討する。

・写真に撮影地を記載した方が良い。

→ 記載するよう検討する。

・専門用語がわかりにくい。

→ 注記を入れるなどして対応する。

4 その他

・今回渡す原稿は、以下のとおり。

第1部 第2章 地形・地質・土壌 20ページ分

第2部 第1章 当別町の遺跡 30ページ分

第2部 第4章 現代の当別町 10ページ分

第3部 第1章 まちの姿の移り変わり 30ページ分

次回会議の日程を7月中旬から下旬頃とし、閉会した。